

AURUM®の耐衝撃性

エンプラは機構部品に使用されることが多く、適正な樹脂を選定するうえでも耐衝撃性は重要な評価項目になります。

そこで一般には材料の脆さあるいは粘り強さを判断するために、アイゾッド衝撃試験により破壊エネルギーが測定されます。

AURUM®のアイゾッド衝撃強度（破壊エネルギー）のノッチ依存性および厚み依存性を、それぞれ図-1, 図-2に示します。

ナチュラルには若干のノッチ依存性と厚み依存性が認められますが、GF, CF強化グレードは何れも比較的安定しています。

また切削（ノッチ）品の衝撃強度は成形（ノッチ）品に比べると幾分小さくなっているのが伺えますが、これは切削による表面粗度の低下、バリ・マイクロクラック等の発生に起因しているものと考えられます。

図-1: 衝撃強度のノッチ依存性

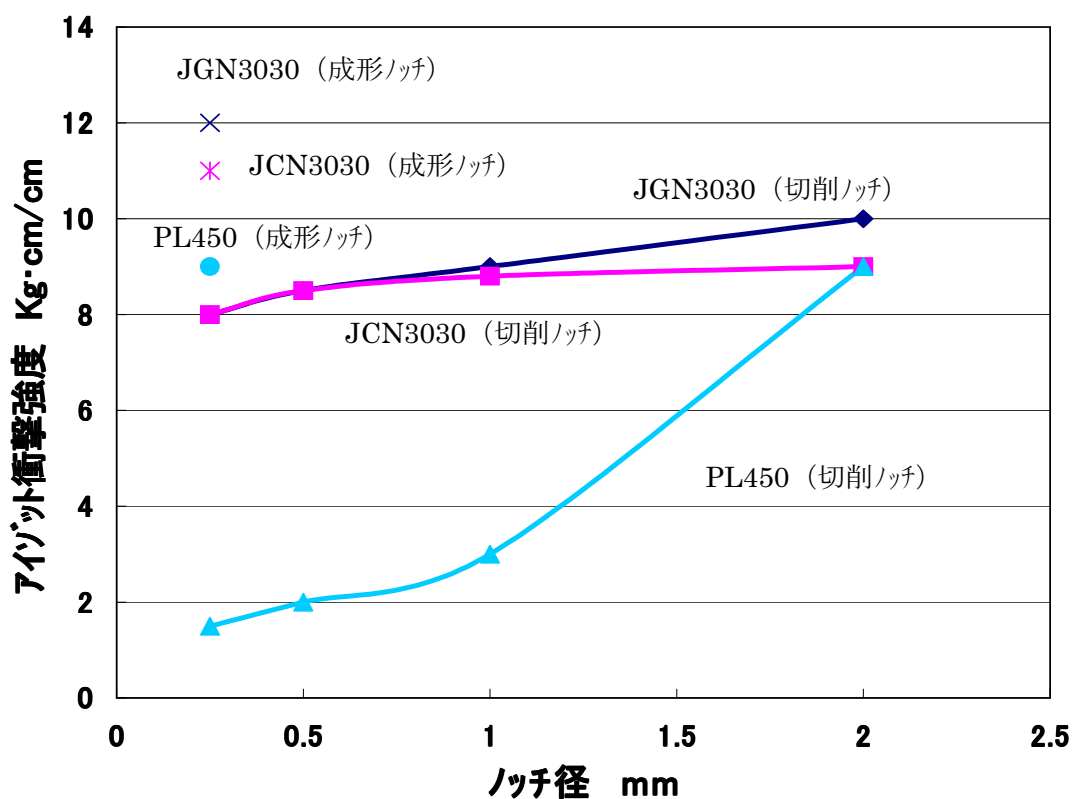


図-2: 衝撃強度の厚み依存性 ノッチ径0.25mm

